

基準 2 教育組織（実施体制）

（1）観点ごとの分析

観点 2-1-①： 学科の構成が、教育の目的を達成する上で適切なものとなっているか。

（観点到に係る状況）

本校では社会の要請に応じて順次学科を増設・改組し、現在では準学士課程は機械工学科、電気情報工学科、電子制御工学科、物質工学科、建築学科の5学科構成である（資料 2-1-①-1）。準学士課程では、学生定員は各学科、各学年で40名、総定員数1000名である。各学科の目的は、資料 1-1-②-1～2（6～7 ページに前出）のように設定しており、学則第1条の学校の目的「深く専門の学芸を教授し」及び「職業に必要な能力を育成する」（資料 1-1-①-1、5 ページに前出）と整合性のとれたものになっている。上記の目的を達成するため、本校では「わが国の将来を担うものづくりの基盤技術を支える創造性に富んだ技術者を養成するため、地域社会と連携し、実験・実習を重視した実践的な技術教育を行う」という教育理念を掲げ、それを具体化した学習・教育目標を設定し、教育を実施している。具体的には、低学年では社会人、技術者としての基礎教育と「ものづくり」や実験・実習を通して基礎力の育成と専門に対する動機付けを行い、高学年では体系的な専門の基礎力を育成し、実験・実習や演習で応用力やコミュニケーション力、地域の実務経験者の講義や校外実習（インターンシップ）で課題探求・解決能力（発展力・創造性）を持つ実践的な技術教育を目指している。

資料 2-1-①-1 準学士課程学科構成

第7条 学科、学級数及び入学定員は、次の表のとおりとする。

学科	学級数	入学定員
機械工学科	1	40人
電気情報工学科	1	40人
電子制御工学科	1	40人
物質工学科	1	40人
建築学科	1	40人

（出典 米子工業高等専門学校学則）

（分析結果とその根拠理由）

本校の学科の構成は、本校の教育の目的を達成する上で適切である。その根拠理由として、本校の準学士課程は工学全般にわたる機械工学科、電気情報工学科、電子制御工学科、物質工学科、建築学科の5学科構成であり、社会人及び技術者として必要な基礎教育及び各専門の体系的かつ実験・実習を重視した教育を行っている。

観点 2-1-②： 専攻科を設置している場合には、専攻科の構成が、教育の目的を達成する上で適切なものとなっているか。

（観点到に係る状況）

専攻科課程は生産システム工学専攻、物質工学専攻、建築学専攻の3専攻構成である（資料 2-1-②-1）。生産システム工学専攻は準学士課程の機械工学科、電気情報工学科、電子制御工学科を統合した学際的な専攻となっている。目的は、学則第47条に「専攻科は、高等専門学校における教育の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄

資料 2-1-②-1 専攻科課程専攻構成

（専攻及び入学定員）

第48条 専攻及び入学定員は、次の表のとおりとする。

専攻	入学定員
生産システム工学専攻	12人
物質工学専攻	4人
建築学専攻	4人

（出典 米子工業高等専門学校学則）

与する創造性豊かな人材を育成する」と定めている（資料1-1-①-1，5ページに前出）。この目的は学校教育法70条の6に沿ったものである。各専攻の目的は，資料1-1-②-3（8ページに前出）のとおりであり，これは学則第47条に合致したものである。

（分析結果とその根拠理由）

本校の専攻科の構成は，本校の教育の目的を達成する上で適切なものとなっている。その根拠理由として専攻科は，産業界の必要分野を考慮した準学士課程専門5学科と関連させた3つの専攻からなっており，目的は学校教育法の目的に合致し，広く産業の発展に寄与する人材を育成するという本校の目的を達成する上で適切なものといえる。

観点2-1-③： 全学的なセンター等を設置している場合には，それらが教育の目的を達成する上で適切なものとなっているか。

（観点に係る状況）

本校には，教育の目的を達成するための全学的に共通で使用できる施設として，図書館情報センター，技術教育支援センター，保健室，学生相談室，福利厚生施設がある。各施設の名称と役割を資料2-1-③-1に示す。また，これらの施設の規則を資料2-1-③-2～4に示す。

本校では平成16年度に図書館と情報処理センターを統合して図書館情報センターとした。この図書館情報センターは図書館及び情報処理教育を行う情報教育施設からなる全学科共通施設である。情報教育施設の授業における利用状況を資料2-1-③-5に示す。また，図書館情報センターは，インターネット受発信の窓口機能を有している。学生はインターネットを通して各種の情報を得ることができ，また就職活動にも利用している。なお，図書館情報センターの図書館に関する規則や利用実績については，基準8で述べる。

技術教育支援センターの主な業務は，一般科目，各学科，各専攻の実験実習時の教育支援と卒業研究・特別研究での支援であり，その中にもものづくりセンターも含まれ，ものづくりセンターでは上記教育支援のほか各種コンテストへの技術指導・支援，学生・教員が教育研究に必要な道具・器具の製作及び実験・実習に関する技術相談に応じている。授業支援及び技術支援の状況を資料2-1-③-6～7に示す。

資料2-1-③-1 主なセンター等一覧

施設の名称	主な役割
図書館情報センター	図書館及び情報処理教育施設・設備の管理運用を行う。
技術教育支援センター	技術に関する専門教育及び教育研究の支援を行う。
保健室及び学生相談室	学生生活の支援を行う。
福利厚生施設（白砂会館ほか）	学生及び教職員の研修等に使用する。

（出典 米子高専規則集などより抜粋）

資料 2-1-③-2

米子工業高等専門学校図書館情報センター規則（抜粋）

（設置）

第1条 米子工業高等専門学校に図書館情報センター（以下「センター」という。）を置く。

2 センターに図書館及び情報教育施設を置く。

（業務）

第2条 センターは、教育・研究資料の収集を行い、本校の有する教育・研究資源を円滑かつ効果的に管理運用し、有機的・効果的利用を図るため、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 図書館業務に関する事
- (2) 情報教育に関する事
- (3) 校内情報ネットワークに関する事

（出典 米子工業高等専門学校規則集データベース）

資料 2-1-③-3

米子工業高等専門学校技術教育支援センター規則（抜粋）

（設置）

第1条 米子工業高等専門学校（以下「本校」という。）に、技術に関する専門的業務を円滑かつ効果的に処理するとともに、教育研究支援体制の充実に資することを目的として、技術教育支援センター（以下「センター」という。）を置く。

（業務）

第2条 センターの所掌業務は、次のとおりとする。

- (1) 教育及び研究に対する技術支援の基本計画の策定に関する事。
- (2) 学生の実験、実習、卒業研究等の準備等及び技術指導に関する事。
- (3) 技術の継承及び保存並びに技術向上のための技術研修、技術発表会及び技術講演会等の企画・実施等に関する事。
- (4) 技術支援に関する事。
- (5) 技術資料の作成、保管及び提供等に関する事。
- (6) 学科等の運営の支援に関する事。
- (7) その他のセンターの目的達成のため必要な事項に関する事。

（出典 米子工業高等専門学校規則集データベース）

資料 2-1-③-4 保健衛生・福利厚生施設案内

V 保健衛生・福利厚生

保健衛生・福利厚生施設として、保健室、学生相談室および食堂・売店があります。学生が日常生活を安全で健康に過ごすことができるように配慮された施設です。

1. 保健室

学生や職員の健康診断、健康相談、救急処置を行っています。

常時看護師が待機しており、救急処置の医薬品も常備しています。

また、日本スポーツ振興センターの学校管理下での災害事故に関する医療費・見舞金等の請求手続き、連絡事務も行っていきます。

学校医が定期的に来校し健康相談を行っています。

（中略）

2. 学生相談室規則

学校生活を送る上での悩みを解決するために必要な援助とサービスを行っています。少しでも悩みが解決できるよう開室していますので、気軽に来室してください。

また、専門のカウンセラーに相談することもできます。その場合は、あらかじめ保健室で予約することが必要です。

相談内容については秘密を厳守します。

相談日時 相談室前に掲示

専用電話 (0859-24-5262)、相談ポスト

E-mail (sodan@yonago-k.ac.jp)でも相談を受け付けています。

3. 福利厚生施設

福利厚生施設（白砂会館）には、学生・職員のための食堂、集会・研修・課外活動等のための研修室等があります。

研修室の使用時間 9時～19時

研修室を使用する場合は、学生課学生係に使用許可願を提出してください。

4. 食堂・売店

営業時間

売店 8:00～17:00

食堂 9:00～14:00

（出典 平成19年度学生便覧 pp.18～19）

資料2-1-③-5 平成19年度図書館情報センター利用状況

		第1端末室	第2端末室
月	1	5M	2A
	2	1C	2A
	3	2C	4D
	4	1A	4D
	5		
	6	4E	
	7	4E	
	8		

火	1	2D	
	2	2D	
	3	3M	5E
	4	3M	5E
	5	1D	3E
	6		3E
	7	5E	3E
	8	5E	

水	1	3E	5D
	2	3E	5D
	3	3M	5M
	4	1E	5M
	5		2E
	6	1D	2E
	7	1D	
	8		

木	1	3D	
	2	3D	
	3		5E
	4		5E
	5	2M	3C
	6	2M	
	7		
	8		

金	1	1M	
	2		
	3	1E	
	4		
	5	2D	
	6	2D	
	7	1E	
	8		

Mは機械工学科, Eは電気情報工学科(電気工学科), Dは電子制御工学科, Cは物質工学科, Aは建築学科
また、数字は準学士課程の学年を示す。

	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	物質工学科	建築学科	専攻科
週当たり情報処理施設利用時間	9	18	13	3	3	0

(出典 教務係資料)

資料2-1-③-6 平成19年度教育支援時間

	六宮	横田	大塚	岡部	山根	和田	松原	大谷	景山	上田	ものづくりセンタ	遠藤
月	1	5M情報		1D製図	1D製図					2A情報	1A物3	
	2	5M実験	5M実験	1D製図	1D製図		1E物3	1C情報		2A情報		
	3	5M実験	5M実験				1E実験	1M化1	2C情報		1E実験	
	4	5M実験	5M実験				1E実験	1M化5		1A情報	1E実験	
	5		2M物4				2E物4	1C実験	1C実験	5A卒研/3Aテザ	5A卒研/3Aテザ	1M実験
	6		2M物4	1D実験	1A化1		2E物4	1C実験	1C実験	5A卒研/3Aテザ	5A卒研/3Aテザ	1M実験
	7			1D実験	1A化5			1C実験	1C実験	5A卒研	5A卒研	1M実験
	8									5A卒研	5A卒研	
火	1			2D製図	2D製図				1A製図	4A製図		
	2			2D製図	2D製図			1C化1	1A製図	4A製図		
	3	3M製図	3M製図			5E設計		1C化5				
	4	3M製図	3M製図			5E設計					1D物3	
	5		1C物3		1D情報	3E実験	3E実験	4C実験	5I	4A製図/S1	3M実験	
	6	4E応物4		4E応物4		3E実験	3E実験	4C実験	5I	4A製図/S1	3M実験	
	7	4E応物4		4E応物4		3E実験	3E実験	4C実験	5I	4A製図/S1	3M実験	
	8									4A製図		
水	1					3Eテラ			3A情報	3A情報		
	2					3Eテラ	3C実験	3C実験	3A情報	3A情報		
	3	3M情報	3M情報				3C実験	3C実験			1M物3	
	4					1E情報	3C実験	3C実験			1A物1	
	5			3D実験			2Eテラ	2C実験	2C実験	2D化5	2A製図	2M実験
	6			3D実験	1D情報	4D応物5	2Eテラ	2C実験	2C実験	4D応物3	2A製図	2M実験
	7	1M W・S		3D実験	1D情報	4D応物5		2C実験	2C実験	卒研/4D応物3	2A製図/卒研	2M実験
	8											
木	1				D3概論						1M物1	
	2				D3概論	4E実験		1D化1	3A製図			
	3	1M製図	1M製図		D2実験	4E実験		1D化5	3A製図		2D実験	2A物4
	4	1M製図	1M製図		D2実験	4E実験			3A製図		2D実験	2A物4
	5	2M図形W・S	2M図形W・S	4D実験	4D実験	5E実験	5E実験		3C情報	3A製図	2E化5	2D物4
	6	2M図形W・S	2M図形W・S	4D実験	4D実験	5E実験	5E実験	2C演習	2C演習	3A製図		2D物4
	7			4D実験	4D実験	5E実験	5E実験	2C演習	2C演習	3A製図		
	8											
金	1	1M情報	1M情報		1E化1				4ACAD			
	2	4M実験	4M実験	5D実験	1E化5	5E実験	3C実験	3C実験	4ACAD		4M実験	
	3	4M実験	4M実験	5D実験		5E実験	1E情報	3C実験	3C実験		4M実験	
	4	4M実験	4M実験	5D実験		5E実験		3C実験	3C実験		4M実験	
	5	4M製図	4M製図				2E実験	2A化5		5A卒研	5A卒研	5M卒研
	6	4M製図	4M製図	2D情報			2E実験			5A卒研/S1	5A卒研/S1	5M卒研/2C物4
	7	4M製図	4M製図	2D情報						5A卒研/S1	5A卒研/S1	5M卒研/2C物4
	8								5I	5I	5M卒研	1C物1

※ 表中の着色部分は一般科目の支援授業を示す。

	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	物質工学科	建築学科	一般科目	専攻科
週当たり授業支援時間 (時間×人)	116	40	41	34	42	6.3(※1)	12
ものづくりセンター 利用時間(時間)	16	2	2	0	0	0	0

※1 一般科目の年間授業支援時間は130時間
(出典 技術教育支援センター資料)

資料2-1-③-7

平成19年度技術支援・行事等運営支援依頼

平成19年4月1日

依頼元	内容	期間	職員
機械工学科	スターリングエンジンカーの設計・製作等の支援	通年	六宮, 横田
機械工学科	M科ホームページメンテナンス	通年	六宮, 横田
機械工学科	学科備品管理業務	通年	六宮, 横田
機械工学科	学科関係資料・教育教材等の不定期な印刷業務	通年	六宮, 横田
機械工学科	インターンシップ報告会運営支援	10月	六宮, 横田
機械工学科	卒業研究発表会(中間発表会も含む)運営支援	9月, 1月	六宮, 横田
機械工学科	オープンキャンパスに係る運営支援	7月~8月	六宮, 横田
電気情報工学科	高専ロボコン製作支援	5月~	山根, 和田
電気情報工学科	エンジョイサイエンス運営支援	8月	山根, 和田
電気情報工学科	オープンキャンパス運営支援	7月~8月	山根, 和田
電気情報工学科	卒業研究発表会(中間発表会を含む)運営支援	9月, 1月	山根, 和田
電気情報工学科	E科HPの管理(共通ページのみ)	通年	山根, 和田
電子制御工学科	工学実験(担当実験について)の開発, メンテナンス及びテキスト等印刷・製本	通年	大塚, 岡部
電子制御工学科	高専ロボコン製作の支援	5月中旬~	岡部
電子制御工学科	就職進学関係データベースの入力作業(電子制御工学科関係資料)	通年	大塚, 岡部
物質工学科	受託研究(中海水質汚濁状況の解析)	通年	松原, 大谷
物質工学科	米子湾の水質測定(週1回 中海ケーブルテレビへのデータ提供のため)	週1回, 通年	松原, 大谷
物質工学科	エンジョイサイエンス支援	8月	松原, 大谷
物質工学科	廃液ポリタンクの授受及び管理	通年	松原, 大谷
物質工学科	排水槽の水質測定	通年	松原, 大谷
物質工学科	卒業研究発表会運営支援(中間発表会を含む)	9月, 1月	松原, 大谷
物質工学科	オープンキャンパスに係る運営支援	7月~8月	松原, 大谷
物質工学科	C科教材作成(印刷, 製本等)	通年	松原, 大谷
物質工学科	C科ネットワーク管理(データの更新)	通年	大谷
建築学科	実験実習機械。コンピューター機器の操作指導・安全指導補助並びにメンテナンス	通年	景山, 上田
建築学科	製図室, CAD室, 実験室等の管理補助	通年	景山, 上田
建築学科	卒研指導補助 建物実測調査補助, 構造材料実験補助, 他	通年	景山, 上田
建築学科	コンペ等諸活動支援 図面製作・模型製作・プレゼンテーションに関する指導補助, 発表会運営補助	通年	景山, 上田
建築学科	環境教育に関連した支援 下草刈り, 間伐実習, 木工指導, 中海清掃など		
建築学科	教材等作成指導	通年	景山, 上田
建築学科	建築学科の定例的行事, PR活動における支援 全国高専デザインコンテスト, 卒研発表会, 科展, 講演会, 作品展等の準備 A科HP作成補助, 卒研梗概集, PRパンフレットの作成発送等	通年	景山, 上田
建築学科	建築学科の活動運営に関連して学科長の依頼する諸支援 備品類の管理・点検, 保存作品・書類などの管理点検	通年	景山, 上田
建築学科	建築学科が学校行事に参加するための諸準備等の支援 エンジョイ科学館, 学校見学会(準備進行撤去, 資料作成等)	7月上旬~8月	景山, 上田
建築学科	認証評価・JABEEに関連する支援 図形・模型写真撮影及び電子ファイル化等データ収集保存	通年	景山, 上田
学生主事	ロボコン大会出場ロボットの製作の支援 校内大会競技用装置の製作 中国地区大会, 全国大会出場ロボットの製作支援	6月~11月上旬	ものづくりセ
機械工学科	高専祭に関する科展, 設計, 製作支援	通年	ものづくりセ
機械工学科	スターリングエンジンカーの設計・製作等の支援	通年	ものづくりセ
機械工学科	オープンキャンパスに係る運営支援	7月~8月	ものづくりセ
図書館情報センター	校内ネットワークのユーザ情報のメンテナンス, トラブルシューティング 保守契約外のネットワーク機器の保守 情報教育機器の保守管理(別紙)	通年	遠藤

(出典 技術教育支援センター資料)

(分析結果とその根拠理由)

本校の全学的なセンターは、教育の目的を達成する上で適切である。

全学の円滑な教育活動を達成するために教育上不可欠な支援業務を目的として全学的なセンター等を組織し、実際に全学的に利用している。

観点2-2-①： 教育課程全体を企画調整するための検討・運営体制及び教育課程を有効に展開するための検討・運営体制が整備され、教育活動等に係る重要事項を審議するなどの必要な活動を行っているか。

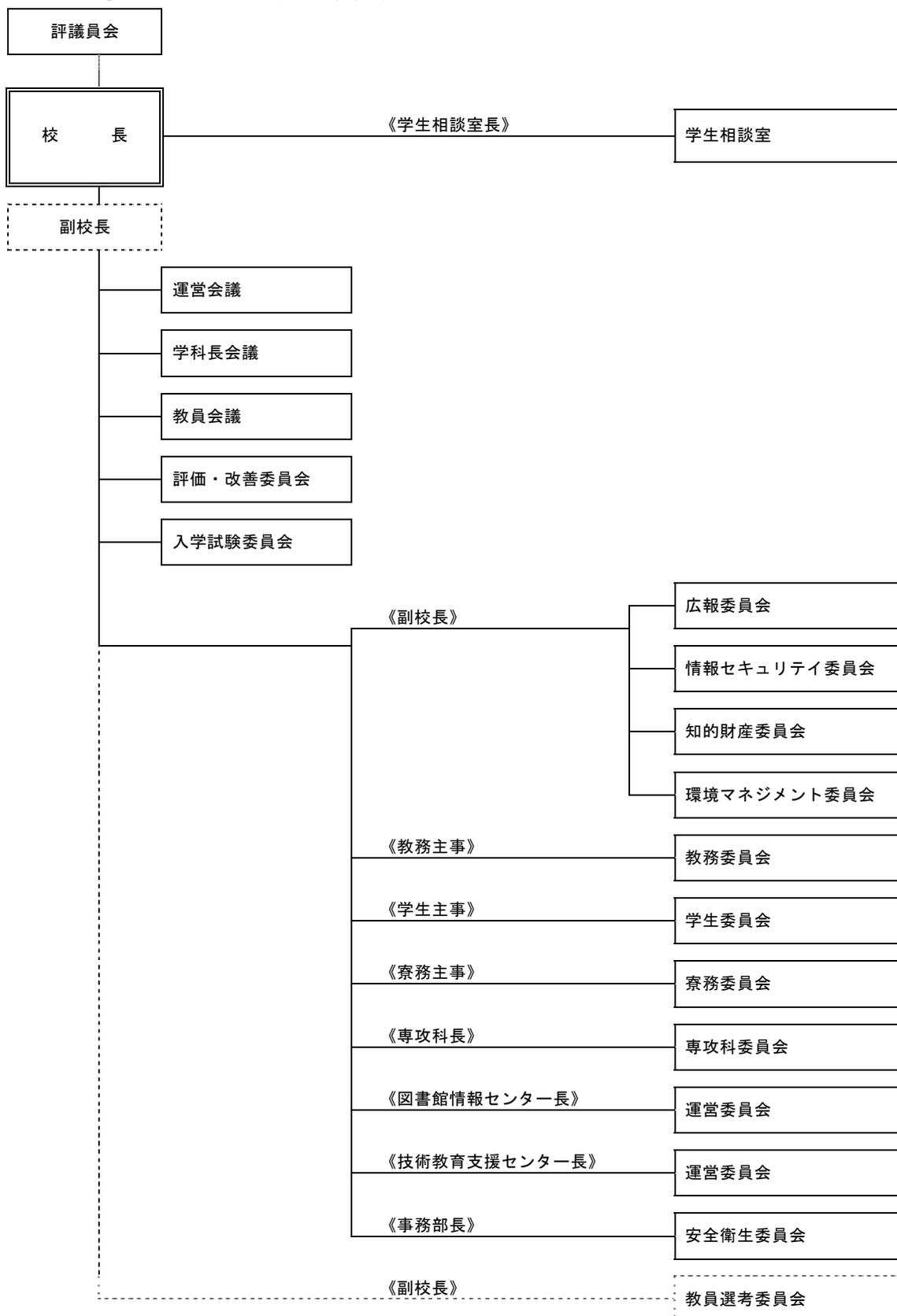
(観点に係る状況)

教育課程等を企画調整するための検討・運営体制として委員会を整備している。委員会関連図を資料2-2-①-1に示す。教育課程全体を企画調整するための組織として、「運営会議」、「評価・改善委員会」及び「学科長会議」があり、準学士課程を運営する組織として「教務委員会」、専攻科課程を運営する組織として「専攻科委員会」を設けている。また、学生支援に関する事項は「学生委員会」、「寮務委員会」などで審議する。検討した事項については、校長に報告する。また、「評議員会」は学校運営に関し、外部の意見を聞くために設置しており、「入学試験委員会」(以下、入試委員会と略す。)は、入学者選抜に関する審議を行うため設けている。

主要な委員会の体制及び審議事項を資料2-2-①-2～10に示す。

また、運営会議、学科長会議、教員会議は定期的に開催しており(資料2-2-①-11)、平成18年度は教務委員会や専攻科委員会もそれぞれ年間5回、12回開催している。これらの委員会、またはその委員会の中に組織した専門部会で教育活動に係る事項を審議している。これらの委員会の中で重要事項を審議した例を資料に示す(資料2-2-①-12～15)。

資料2-2-①-1 平成19年度委員会関連図



《 》は、主管者等

(出展 総務課資料)

資料2-2-①-2

米子工業高等専門学校運営会議規則（抜粋）

（設置）

第1条 米子工業高等専門学校（以下「本校」という。）に、米子工業高等専門学校運営会議（以下「運営会議」という。）を置く。

（目的）

第2条 運営会議は、校長の諮問に応じ、本校の運営に関する重要事項について審議することを目的とする。

（構成員）

第3条 運営会議は、次の者をもって構成する。

- （1） 校長
- （2） 副校長
- （3） 教務主事、学生主事及び寮務主事
- （4） 事務部長及び各課長
- （5） その他校長が指名する者

（会議）

第4条 運営会議は、原則として月2回開催する。

（後略）

（出典 米子工業高等専門学校規則集データベース）

資料2-2-①-3

米子工業高等専門学校評価・改善委員会規則（抜粋）

（設置）

第1条 米子工業高等専門学校（以下「本校」という。）に、米子工業高等専門学校評価・改善委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目的）

第2条 委員会は、校長の諮問に応じて、自己評価及び機関別認証評価に関連した本校の教育研究及びその他の諸活動に憑いて評価・改善策を答申することを目的とする。

（審議事項）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項の評価・改善策について審議する。

- （1） 本校の教育目的
- （2） 技術者教育認定申請
- （3） 教育実施体制
- （4） 教職員組織
- （5） 教育内容及び方法
- （6） 学生支援
- （7） 学生の受入
- （8） 施設・設備
- （9） 管理運営
- （10） その他本校における様々な教育活動

（構成員）

第4条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- （1） 副校長
- （2） 教務主事
- （3） 専攻科長
- （4） 各学科及び一般科目教員のうちから校長が指名する者
- （5） その他校長が指名する者

（後略）

（出典 米子工業高等専門学校規則集データベース）

資料 2 - 2 - ① - 4

米子工業高等専門学校入学試験委員会規則（抜粋）

- （設置）
- 第 1 条 米子工業高等専門学校に、入学者の選抜を行うため、米子工業高等専門学校入学試験委員会（以下「委員会」という。）を置く。
- （審議事項）
- 第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。
- （1）入学者の募集に関する事項
 - （2）入学者選抜試験の実施計画に関する事項
 - （3）入学者の判定に関する事項
 - （4）転学科生の認否に関する事項
 - （5）その他入学者選抜に関する重要事項
- （組織）
- 第 3 条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。
- （1）校長
 - （2）副校長
 - （3）教務主事、学生主事及び寮務主事
 - （4）教務主事補
 - （5）一般科目長、各学科長及び専攻科長
 - （6）事務部長
 - （7）学生課長
- （後略）

（出典 米子工業高等専門学校規則集データベース）

資料 2 - 2 - ① - 5

米子工業高等専門学校学科長会議規則（抜粋）

- （設置）
- 第 1 条 米子工業高等専門学校（以下「本校」という。）に、米子工業高等専門学校学科長会議（以下「学科長会議」という。）を置く。
- （目的）
- 第 2 条 学科長会議は、校長の諮問に応じ、本校の教育・研究に関する重要事項について審議することを目的とする。
- （構成員）
- 第 3 条 学科長会議は、次の者をもって構成する。
- （1）校長
 - （2）副校長
 - （3）教務主事、学生主事及び寮務主事
 - （4）専攻科長、各学科長及び一般科目長
 - （5）図書館情報センター長
 - （6）地域共同テクノセンター長
 - （7）技術教育支援センター長
 - （8）事務部長及び各課長
- （会議）
- 第 4 条 学科長会議は、原則として月 1 回開催する。
- （後略）

（出典 米子工業高等専門学校規則集データベース）

資料 2 - 2 - ① - 6

米子工業高等専門学校教務委員会規則（抜粋）

- 第 1 条 米子工業高等専門学校教務委員会（以下「委員会」という。）は、校長の諮問に応じ、教育計画の立案、教育課程等の編成、学習指導、その他教務に関する必要な事項について審議し、連絡調整することを目的とする。
- 第 2 条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。
- （1）教務主事
 - （2）教務主事補
 - （3）一般科目主任及び各学科主任
 - （4）学級担任のうち各学年から選出された者各 1 人
 - （5）学生課長
- 2 前項第 4 号に規定する委員は、校長が任命する。
- （後略）

（出典 米子工業高等専門学校規則集データベース）

資料 2-2-①-7

米子工業高等専門学校専攻科委員会規則（抜粋）

（趣旨）

第 1 条 この規則は、米子工業高等専門学校専攻科規則第 4 条第 2 項の規定に基づき、米子工業高等専門学校専攻科委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定める。

（審議事項）

第 2 条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 教務に関すること。
 - (2) 厚生補導に関すること。
 - (3) 入学者選抜に関すること。
 - (4) その他専攻科に関すること。
- （後略）

（出典 米子工業高等専門学校規則集データベース）

資料 2-2-①-8

米子工業高等専門学校学生委員会規則（抜粋）

第 1 条 米子工業高等専門学校学生委員会（以下「委員会」という。）は、校長の諮問に応じ、学生の課外教育、厚生福祉、保健衛生、入学料免除者選考、授業料免除者選考及び日本育英会等に関する必要事項を審議し連絡調整することを目的とする。

第 2 条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 学生主事
- (2) 学生主事補
- (3) 学級担任のうち各学年から選出された者各 1 人
- (4) 学生課長

2 前項第 3 号に規定する委員は、校長が任命する。

（後略）

（出典 米子工業高等専門学校規則集データベース）

資料 2-2-①-9

米子工業高等専門学校寮務委員会規則（抜粋）

第 1 条 米子工業高等専門学校寮務委員会（以下「委員会」という。）は、校長の諮問に応じ、本校学寮の運営及び寮生の生活指導等に関する必要事項を審議し、連絡調整することを目的とする。

第 2 条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 寮務主事
- (2) 寮務主事補
- (3) 学級担任のうち各学年から選出された者各 1 人
- (4) 学生課長

（後略）

（出典 米子工業高等専門学校規則集データベース）

資料 2-2-①-10

米子工業高等専門学校評議員会規則（抜粋）

（設置）

第 1 条 米子工業高等専門学校（以下「本校」という。）に、学校運営に関し、外部からの意見を聴くため、評議員会を置く。

（審議事項）

第 2 条 評議員会は、校長の諮問に応じて、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 本校の教育研究活動に関する重要事項
- (2) 本校の地域貢献活動に関する重要事項
- (3) その他本校の運営に関する重要事項

（委員）

第 3 条 評議員会の委員は 10 名以内とし、本校の職員以外の者で高等専門学校に関し広くかつ高い識見を有する者の内から、校長が委嘱する。

（後略）

（出典 米子工業高等専門学校規則集データベース）

資料2-2-①-11

平成18年度 会議予定日

月	運営会議		教員会議			学科長会議		
	日	曜	開始時刻	行事等	日	曜	開始時刻	行事等
4	3, 19	3 月	16:00	春季休業中	19 水	16:30		
5	10, 17	10 水	16:30		17 水	16:30		
6	7, 21	7 水	16:30		21 水	16:30		
7	5, 19	5 水	16:30		19 水	16:30		補講
8	開 催 し な い							
9	6, 20	6 水	16:30		20 水	16:30		
10	4, 18	4 水	16:30		18 水	16:30		特別行事
11	1, 15	1 水	16:30	木曜授業	15 水	16:30		
12	6, 20	6 水	16:30	後期中間試験中 1～3年	20 水	16:30		
1	10, 17	10 水	16:30		17 水	16:30		
2	7, 21	7 水	16:30		21 水	16:30		終業式
3	7, 20	7 水	13:30	臨時休業中	20 火	13:30		学年末休業

*運営会議開始時刻 9:45～(4/3は13:30～)

(出典 総務課総務係校内 Web ページ)

資料2-2-①-12

運営会議議事概要(抜粋)

1 日 時 平成19年2月7日(水) 9:45～11:45

2 議 題

【審議事項】

(前略)

(4)平成19年度非常勤講師(継続雇用)の選考について

副校長から、資料3(非常勤講師(継続雇用)任用調書及び授業アンケート結果)に基づき、平成19年度継続雇用予定の非常勤講師について説明があり、その後、専攻科の非常勤講師に係る専攻科長の補足説明を経て、審議の結果、了承された。

(中略)

(6)技術教育支援センター職員の教育・研究支援について

事務部長から、資料5(技術教育支援センターの円滑な運営に向けて)に基づき、技術教育支援センター設置時の構想とその後の運営計画等の速やかな実施の要請及び技術教育支援センター職員の平成19年度からの教育・研究支援(実験・実習等)について説明があり、審議の結果、了承された。

なお、運営計画等及び平成19年度からの教育・研究支援の実施に当たっては、学科長会議において、一般科目長及び各学科長の協力要請を行うこととなった。

(7)平成19年度年間行事予定について

教務主事から、資料6(教務関係年間行事予定表)に基づき、1月10日(水)の本会議で了承された平成19年度年間行事予定について、一部変更したい旨説明があり、審議の結果、了承された。

(8)進路面談会について

学生主事から、3月25日(日)に進路懇談会と併せて実施する進路面談会について説明があり、審議の結果、了承された。

(後略)

(出典 平成19年2月7日運営会議議事録)

資料2-2-①-13

学科長会議議事概要（抜粋）

- 1 日時 平成18年11月15日（水）16:30～17:40
 2 場所 小会議室
 3 議題
 (1) 平成18年度国立高等専門学校機構教員顕彰の推薦について
 (2) 平成18年度後期非常勤講師の交代に係る選考の結果について
 (3) 平成19年度高専間交流制度による推薦者の派遣決定について
 (4) 平成19年度科学研究費補助金の申請について
 (5) 本科カリキュラムの改訂について
 (6) 平成18年度学生の進路状況について
 (後略)

(出典 平成18年11月15日学科長会議議事録)

資料2-2-①-14

平成18年度第5回教務委員会議事要旨（抜粋）

日時：平成19年3月5日（月）15:00～16:00

場所：大会議室

議事要旨

(中略)

2. 改訂カリキュラム実施上の問題点への対応について

山口教務主事補から、資料により改訂カリキュラム実施上の問題点への対応について説明があり、資料のとおり対応することが承認された。

(中略)

4. 平成19年度授業時間割について

山口教務主事補から、資料により平成19年度授業時間割(案)の説明があり、この案をもとに今後修正を加える旨説明があった。

(後略)

(出展 平成18年度第5回教務委員会議事要旨)

資料2-2-①-15

平成18年度第1回米子工業高等専門学校評議員会議事要旨（抜粋）

日時 平成18年11月10日（金）14時00分～16時20分

場所 米子ワシントンホテルプラザ

出席者 委員：金田昭 副井裕 藤田教正 森脇孝 矢倉敏久 矢末誠 山口和彦

本校：校長 水島和夫 副校長 小田耕平 教務主事 香川律 学生主事 山藤良治 寮務主事 竹中敦司

事務部長 松本勤 庶務課長 渡邊正則 会計課長 阿部秀一 学生課長 山根茂雄

テーマ「平成17年度第1回（高専の地域貢献）・第2回（学生指導と課外活動）・第3回（教育研究活動）評議員会の意見・提言に対する対応状況等」

(後略)

(出典 平成18年度第1回米子工業高等専門学校評議員会議事要旨)

(分析結果とその根拠理由)

教育課程全体を企画調整するための検討・運営体制及び教育課程を有効に展開するための検討・運営体制を整備し、教育活動等に係る重要事項を審議するなどの必要な活動を行っている。

教育課程全体を企画調整するための組織として、運営会議、評価・改善委員会、学科長会議を整備し、また、教育課程を有効に展開するための組織として、教務委員会、専攻科委員会、学生委員会、寮務委員会等を整備している。また、教育活動に関する評価は、外部評価のための委員会（評議員会）を設置しており、活動の評価を行っている。上述したようにいずれの委員会も有効に機能している。

観点2-2-②： 一般科目及び専門科目を担当する教員間の連携が、機能的に行われているか。

(観点に係る状況)

一般科目及び専門科目を担当する教員間の連携を密にするための組織として教員連携促進ワーキンググループ（以下教員連携促進WGという）がある。教員連携促進WGは平成17年度に一般教育と専門教育の連携業務を掌る組織として、評価・改善委員会の下部組織という位置づけで設置した。資料2-2-②-1は教員連携促進WGの活動実績を示している。また、特定の問題に対しては、資料2-2-②-2に示すようなワーキンググループを別途設置して対応している。

資料2-2-②-1 教員連携促進ワーキンググループの活動実績

日時：平成18年2月10日（金）14時00分～16時00分

場所：小会議室

参加者：永井、松本至、千葉、雑賀、澤、川端、中井、布施、川邊、大庭、竹内

欠席者：大塚（代理で松本至先生が出席）、池本（出張のため）

1. 専門学科長と一般科目教科代表の意見交換会

まず永井委員長から、本WGとしては認証評価基準2-2-①、②（教員連携を促すシステムがあり、それが機能していること）の根拠資料を残す必要がある、そのためには、専門学科長と一般科目教科代表間の意見交換会を企画・実行し、その結果に基づいてシラバス等を修正するという取り組みが必要であることが説明された。また、専門学科と一般科目の総あたり表が配布され、その表を埋めて行くという方法で会がすすめられた。

（後略）

（出典 第4回教員連携促進WG議事録）

資料2-2-②-2 一般教育・専門連携ワーキンググループの例

ワーキンググループ名	審議内容
カリキュラム改訂	一般科目及び専門学科のカリキュラム改訂
現代GP	新教育方法、プログラムの内容検討及び一般科目及び専門学科の連携の検討

（出典 総務部資料）

（分析結果とその根拠理由）

一般科目及び専門科目を担当する教員間の連携を行うために、教員連携促進WGなどを設置し、活動している。また、特定の問題に対して専門のワーキンググループを作成し、その対応及び一般科目と専門科目の連携を図っている。

観点2-2-③： 教育活動を円滑に実施するための支援体制が機能しているか。

（観点到に係る状況）

準学士課程では、学級担任を配置しており（資料2-2-③-1）、担任は教育活動を円滑に実施するため担当するクラスの運営、学習指導及び生活指導を行っている。担任の業務は、教務便覧（別添資料2-2-③-1）及び学生生活指導の手引（別添資料2-2-③-2）などで規定している。担任の業務を支援する体制として、教務委員会（資料2-2-①-6、26ページに前出）、学生委員会（資料2-2-①-8、27ページに前出）、寮務委員会（資料2-2-①-9、27ページに前出）などがあり、各学年の担任の代表がこれらの委員会の委員として参加している。クラス運営上の問題点などについては、担任会で意見をまとめ、学年代表の委員が各種委員会で審議を行っている。また、全校で行う文化祭、第2学年で行う校外研修や第3学年で行う工場見学旅行等の学校行事では、ほとんどの教職員が参加し、担任業務を支援している。

専攻科課程では、専攻科委員会（資料2-2-①-7、27ページに前出）が教育活動全般にわたる内容について審議を行い、専攻科担当教員が円滑に学生を指導できるよう支援している。

資料 2-2-③-1 平成 19 年度校務分掌一覧

平成19年6月20日

平成 19 年度 教員 校務 分掌

(主事) 小田 香川 山藤 竹中 (教務) (学生) (寮務) 青木 竹内 河野 能登路 山本英 西垣 藤岡 岡 松本至* 高増 宮田 浅倉 植田英 早水 小川和 大庭 北林 越智 加藤 松本幸 黒川 榎田岳 田口 榎間 里村 井上	副校長 校長 補 佐	副校長 香川 山藤 竹中 (教務) (学生) (寮務) 青木 竹内 河野 能登路 山本英 西垣 藤岡 岡 松本至* 高増 宮田 浅倉 植田英 早水 小川和 大庭 北林 越智 加藤 松本幸 黒川 榎田岳 田口 榎間 里村 井上	校長 補 佐 校長 香川 山藤 竹中 副校長 青木 竹内 河野 能登路 各主事 山本英 西垣 藤岡 岡 事務部長 松本至* 高増 宮田 各課長 浅倉 植田英 早水 小川和 大庭 北林 越智 加藤 松本幸 黒川 榎田岳 田口 榎間 里村 井上	運営会議 校長 副校長 各主事 事務部長 各課長	専攻科 専攻科長 松原 松本至 副専攻科長 藤井 和田	地域共同 テクノセンター センター長 足立 副センター長 手葉 センター員 田中 兼子	学科等 学科長等 機 械 工学部 大塚茂 電気情報 工学部 新田 電子制御 工学部 織賀 物 質 工学部 山本幸 建 築 工学部 福田 一 般 科 中井	学 科 学 級 担 任 (◎学年主任) 機 械 工学部 山口 川邊 矢壁 森田慎 ◎河 詒 電気情報 工学部 松本正 布施 ◎南 西尾 庄倉 電子制御 工学部 村側 原 加納 中山 青柳 物 質 工学部 平澤 中島 藤井 田原 池田彰 建 築 工学部 ◎山田 ◎酒井 西川 ◎片木 熊谷 学 生 相 談 室 室 長 大原 川端 相談員 和田 田原 ◎留学生 指導教員 代表 中山
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

*特命(専攻科)
専任協中国地区体育大会担当 池本、南

各 種 委 員 会 委 員 等 (◎委員長)															
学年選出委員会委員				学科選出委員会委員				その他の委員会委員							
学年	教務	学生 (日本学生 支援機構)	寮務	学科	専攻科	図書館 センター運営	評価・改善	広報	情報 セキュリティ	入学試験	契約財産	技術教育支援 センター運営	安全管理	環境 マネジメント	
職指定	◎教務主事 教務主事補 学料(科目)長 専攻科長 学生課長	◎学生主事 学生主事補 学生課長	◎寮務主事 寮務主事補 学生課長	職指定	◎専攻科長 副専攻科長 学生課長	◎ソフト長 副ソフト長 ソフト長補 学生課長	職指定	副校長 教務主事 副専攻科長 専攻科長 地域共同 ソフト長	◎副校長 総務課長 学生課長	◎副校長 図書館情報 ソフト長 図書館情報 ソフト長補 総務課長 学生課長	◎校長 副校長 各主事 教務主事補 専攻科長 学料(科目)長 事務部長 学生課長	◎副校長 地域共同 ソフト長 長明会分所属 又は関係す る学料長等 総務課長	◎ソフト長 学料(科目)長 学生課長 技術長	◎事務部長 庶務課長 衛生管理員 (事務部長兼) 安全管理者 (総務課長) 施設部長	◎副校長 事務部長 総務課長 学生課長 契約部長 施設部長
1 学年	学年主任 (山田)	松本正	平澤	機 械	松本至	矢壁	職指定								
2 学年	(酒井)	中島	川邊	電 気	松本至	小川寛	◎委員								
3 学年	(南)	藤井	西川	電 子	河野	中山								池田	
4 学年	(片木)	森田慎	中山	物 質	藤井	坪井								兼子	
5 学年	(河津)	庄倉	青柳	建 築	和田	松本幸								加藤	
				一 般	南	兼田									

【課外活動】

ク ラ ブ 指 導 教 員																							
種 上 技	バレー ボール	バスケット ボール	ソフト テニス	卓 球	柔 道	剣 道	野 球 (高)	野 球 (専)	サッカー	ラグビー	ハンド ボール	水 泳	ヨット	テニス	バドミ ントン	空手道	吹奏楽	科 学	文 芸	軽音楽	放 送	茶道・ 華道	スター リング エンジン
南	山本英	大庭	越智	河野	永井	松原	森田典	松本至	田中	宮田	藤岡	池本	里村	植田英	川邊	大塚茂	山田	竹内	平澤	山口	酒井	田原	森田慎
	庄倉	松本正	西尾	黒川	山本幸	西垣	加納	能登路	倉田	兼子	加藤	小川和	青柳	中島	足立	原	福田	青木		中井	片木	新田	和田
	熊谷	西川	藤井	大塚茂	川端	布施	浅倉	中山	奥雲	河詒	井上	村側	榎田岳	池田彰	大原	早水	松本幸						
		小川寛	田口				北林																

同 好 会 指 導 教 員													
漫 画 研 究	物 質 学 究	書 道	インテ リアクト	美 術	合 唱	コン ピュータ	ソフト ボ ー ル	カー ホビー	演 劇	映 画 鑑 賞	建 築 研 究	将 棋	映 画 研 究
岡	里村	原	中井	松原	酒井	倉田	加藤	矢壁	酒井	田口	西川	松本至	小川和

(出典 総務課人事労務係校内 Web ページ)

また、人間の素養を涵養する教育として課外活動があり、課外活動を支援するためクラブ指導教員及び同好会指導教員を配置している(資料2-2-③-1)。クラブ指導教員を支援する体制として、体育系クラブ及び一部の文科系クラブで複数教員による指導やクラブ指導教員の重複の回避及び外部コーチの委嘱などがあり、クラブ指導教員の活動を支援している。また、クラブ・同好会指導教員間の意見交流、連絡調整、支援内容の検討などを行う場としてクラブ・同好会指導教員会議があり、長期休業中の課外活動等の支援方法の検討、整備などを行っている(資料2-2-③-2)。

資料2-2-③-2 長期休業中の課外活動等の支援

クラブ・同好会指導教員会議議事録

期日 平成17年 4月21日

場所 大会議室

議題

(中略)

4. その他

① 長期休業中の課外活動等の支援について

学生主事より資料により説明があり了承された。

(後略)

学科長会議議事録

日時 平成17年6月15日(水) 16:00~19:25

場所 小会議室

欠席者 学生課長(出張)

議事

4. 長期休業中の課外活動等の支援について

校長及び学生主事から、資料に基づき説明があり、了承された。

また、本件については6月21日(火)に全教員に対して説明会を開催する旨報告があった。

(後略)

(出典 平成17年4月クラブ・同好会指導教員会議議事録及び
平成17年6月学科長会議議事録)

その他の支援組織として、学生課、図書館情報センター、技術教育支援センターなどがある。学生課には、教務係、学生係、寮務係等があり、授業、教育課程、学業成績などについては教務係、生活指導、健康管理、課外活動などについては学生係、学生寮については寮務係が支援を行っている。また、図書館情報センター(資料2-1-③-2, 19ページに前出)及び技術教育支援センター(資料2-1-③-3, 19ページに前出)は、学生実験・実習、情報処理教育、卒業研究、特別研究等の授業支援やロボットコンテスト、プログラミングコンテスト、デザインコンペティション等の課外活動支援を行っている。

(分析結果とその根拠理由)

教育活動を円滑に実施するための支援体制が機能している。

教育の支援体制として担任制がある。担当業務は整備・明文化されており、それに沿って担任業務を行っている。担任業務のうち学校行事に関するものについては担任以外の教員も参加し、担任の業務を支援している。また、同様の目的で課外活動を支援する体制として教員によるクラブ・同好会を指導する制度がある。体育系クラブ及び一部の文科系クラブで複数の指導教員を当て、また、担当クラブの重複を避ける措置をとって対外試合の引率、放課後のクラブ指導等を行いやすい環境を整備している。また、担任及びクラブ顧問の活動を支援する組織として担任会やクラブ・同好会指導教員会議がある。さらに、長期休暇中の課外活動等を支援する体制として、女性教員を除く全教員による宿直制度がある。また、事務的な側面から支援する組織として、学生課などがあり、各主事及び主事補と連携をとりながら機能している。

(2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

学校行事や課外活動の支援を全教員が行う体制が整っており、また、事務部との連携も行われている。

(改善を要する点)

該当なし

(3) 基準2の自己評価の概要

本校の準学士課程は機械工学科，電気情報工学科，電子制御工学科，物質工学科，建築学科の5学科で構成しており，工学全般にわたる技術者を育成することができる学科構成となっており，教育理念及び学習・教育目標との整合性も取れている。また，専攻科課程は生産システム工学専攻，物質工学専攻，建築学専攻の3専攻で構成しており，準学士課程で修得した専門をさらに深く教授するとともに，本校の教育理念に沿った幅広い能力を備えた技術者教育を行っている。

全学的なセンターとして，図書館情報センター，技術教育支援センター等を設置しており，それらが教育の目的を達成する上で適切なものとなっている。図書館情報センターは，情報処理教育をはじめ学生の自学自習センターとして，またインターネットを介した情報通信の重要な中継基地として適切に機能している。技術教育支援センターは実験実習，卒業研究，特別研究等を側面から支援し，教育目標達成のために機能している。

教育課程全体を企画調整するための検討・運営体制として，運営会議，評価・改善委員会を整備しており，これらの委員会は機能している。また，教育課程を有効に展開するための検討・運営体制として，教務委員会と専攻科委員会を整備しており，これらの委員会も機能している。

一般科目及び専門科目を担当する教員間の連携を図るために教員連携促進ワーキンググループを設け，適切な活動を行っている。

教育活動や課外活動を円滑に実施するための支援体制として担任制，教員によるクラブ・同好会を指導する制度を整備し，有効に機能している。また，事務的側面から学生課に教務係，学生係，寮務係等を組織しており，教育活動，課外活動，学生の学校生活，寮生活を支援している。

